



# 伊江村まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略

## 【概要版】



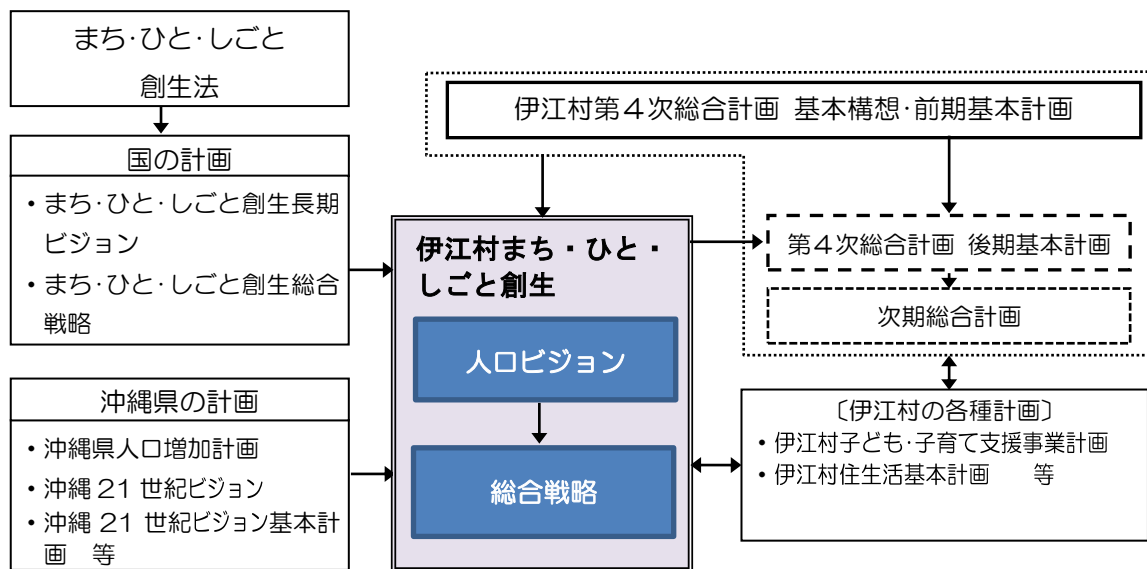
### ◆伊江村まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」の基本的な考え方

◇伊江村まち・ひと・しごと創生『人口ビジョン』・『総合戦略』は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、沖縄県の計画や本村の最上位計画である「伊江村第4次総合計画」をはじめ、本村の各種計画と密接に位置づけているものです。

◇第1部「人口ビジョン」は、本村の人口の現状分析を行い、人口減少問題について村民の認識の共有を目指すとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示しています。

◇第2部「総合戦略」では、伊江村人口ビジョンを踏まえながら、まち・ひと・しごと創生の実現に向け、国の総合戦略の趣旨に基づき、伊江村が抱える地域課題の解決に向けた地域戦略を示しています。

### ◆計画の位置づけ



### ◆対象期間

◇『人口ビジョン』は国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の期間である平成 72 (2060) 年を基本とします。

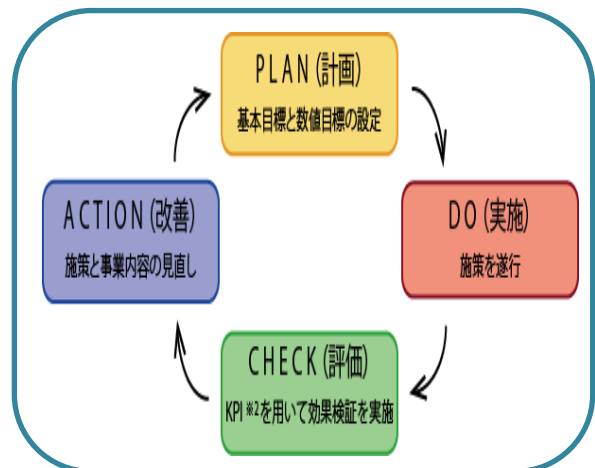
◇『総合戦略』は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と同じ平成 27 (2015) 年から平成 31 (2019) 年までの 5 年間とします。

### ◆PDCAサイクルによる効果検証と改善

◇総合戦略の効果検証については、行政主体の組織ではなく、村民や地元企業、各種団体、外部有識者等の「産官学金労言<sup>\*1</sup>」で構成される「伊江村まち・ひと・しごと推進会議」で、1年ごとの村の実状に合せてPDCAサイクルにより効果の検証、改訂を行っていきます。

※1. 産官学金労言：（産）産業界、（官）行政機関、（学）教育機関、（金）金融機関、（労）労働団体、（言）メディア

※2. KPI（重要業績評価指標）：施策の進捗状況を検証するために設定する指標



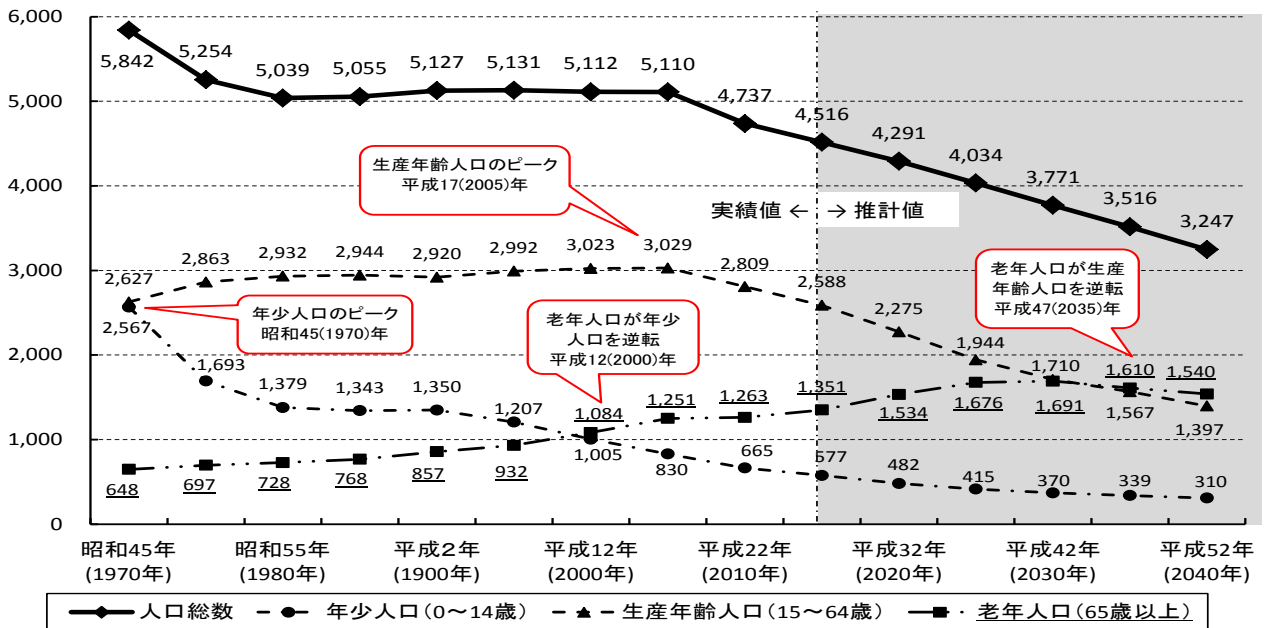
# 第1部 人口ビジョン

## ◆伊江村の人口の現状分析

◇昭和45（1970）年以降の本村の人口の推移をみると、減少傾向が続いており、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計では、平成22（2010）年以降も減少が続くと予測されています。

◇平成47（2035）年には、老年人口が生産年齢人口を逆転する見通しであり、高齢者1人を生産年齢人口1人に満たない状況で支えていくと見込まれています。

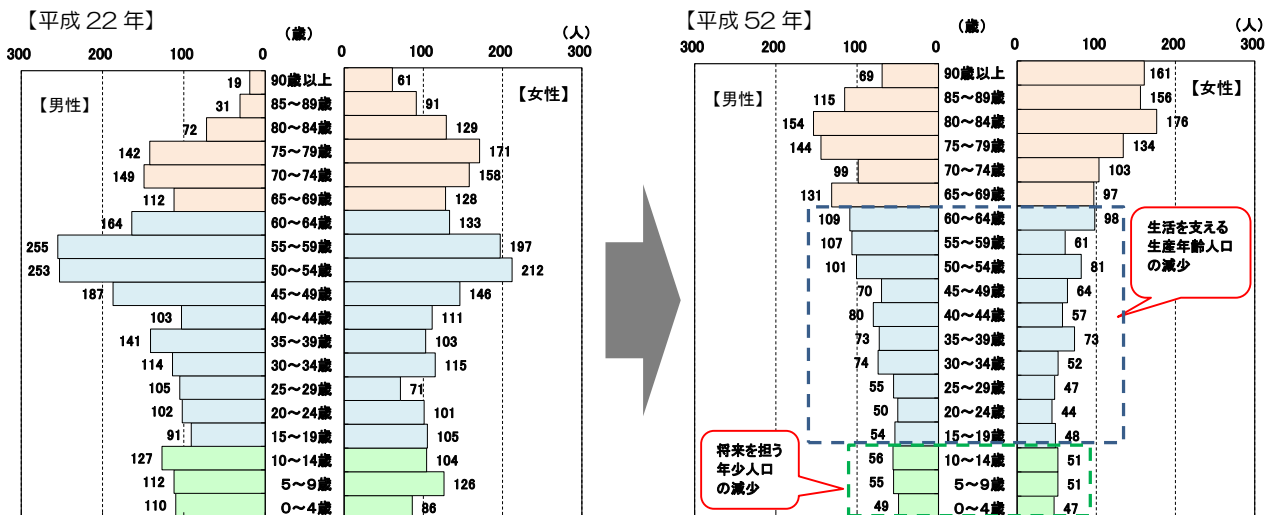
### 《人口推計と年齢3区分別人口の推移》



※平成22(2010)年までは国勢調査、平成27(2015)年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計値より作成。  
 ※人口総数には不詳も含まれていることから、年少人口、生産年齢人口及び老年人口の合計と一致しない年もある。

◇少子高齢化の進行も顕著になっており、将来の伊江村を担っていく人材の確保や高齢者への対応が必要となります。

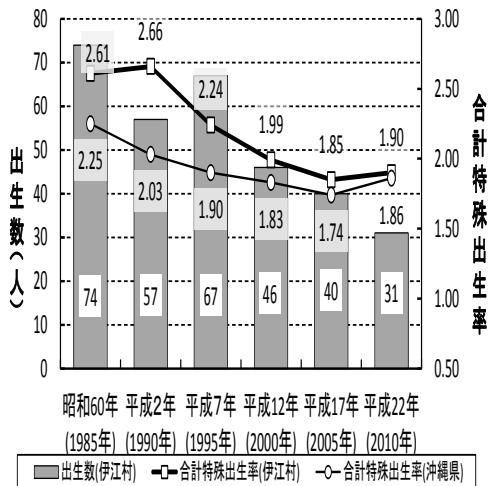
### 《5歳階級別人口の推移》



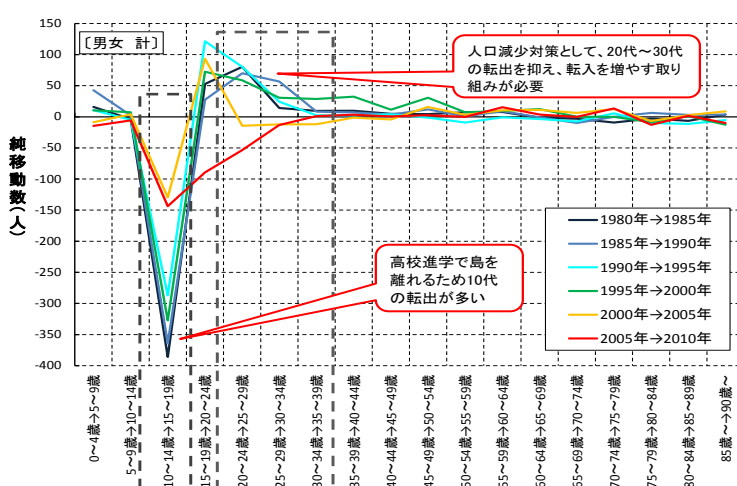
◇本村の合計特殊出生率は、県平均を上回っていますが、低下傾向にあります。出生数については、平成7年以降減少傾向で推移しています。

◇年齢階級別人口移動の推移では、「15歳の島立ち」という言葉が示しているとおり、10代の転出超過が続いていますが、高校・大学卒業後の20代以降でも本村に戻ってくる人は少ない状況です。

《合計特殊出生率と出生数の推移》



《年齢階級別人口移動の推移》



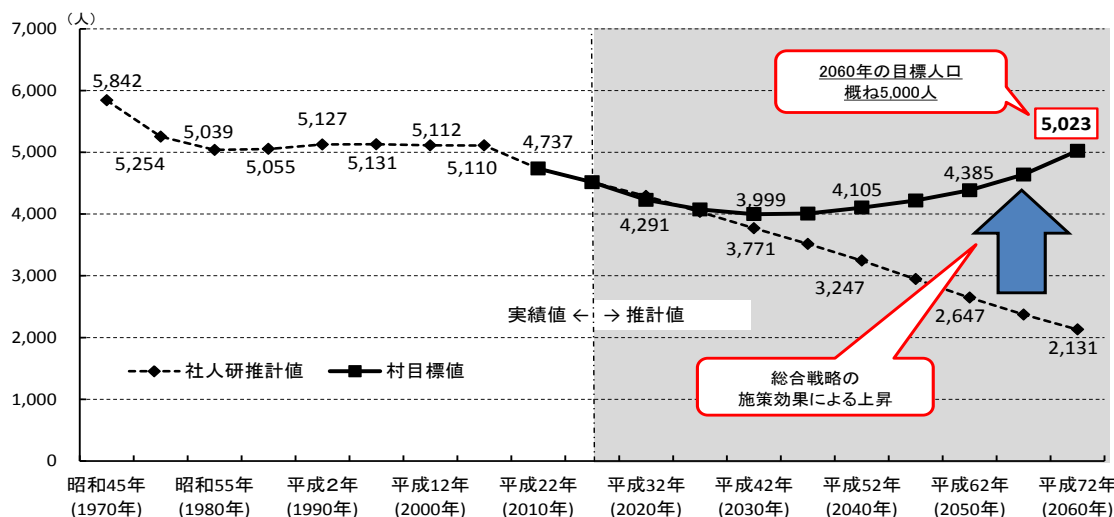
## ◆人口の将来展望

◇本村の将来人口の減少に歯止めをかけるためには、人口規模の安定化と人口構造の若返りが必要です。そのためには、特に若い世代の社会増（転出抑制と転入増加）及び合計特殊出生率を上昇させることによる自然増への取り組みによる人口減少対策が期待されています。このことから、本村の目指すべき将来の方向として、以下の2点を示します。

- 将来の方向①：働きがいのある仕事の創出や定住支援等により、伊江村に新しい人の流れをつくる
- 将来の方向②：出会い・結婚・出産・子育ての希望を叶える

◇上記の将来の方向を踏まえ、伊江村まち・ひと・しごと創生総合戦略により早期に人口増加に向けた取り組みに着手し、**平成72(2060)年の伊江村の人口を概ね5,000人と設定**します。

《人口の将来展望と社人研推計値との比較》



※平成22(2010)年までは国勢調査より作成。

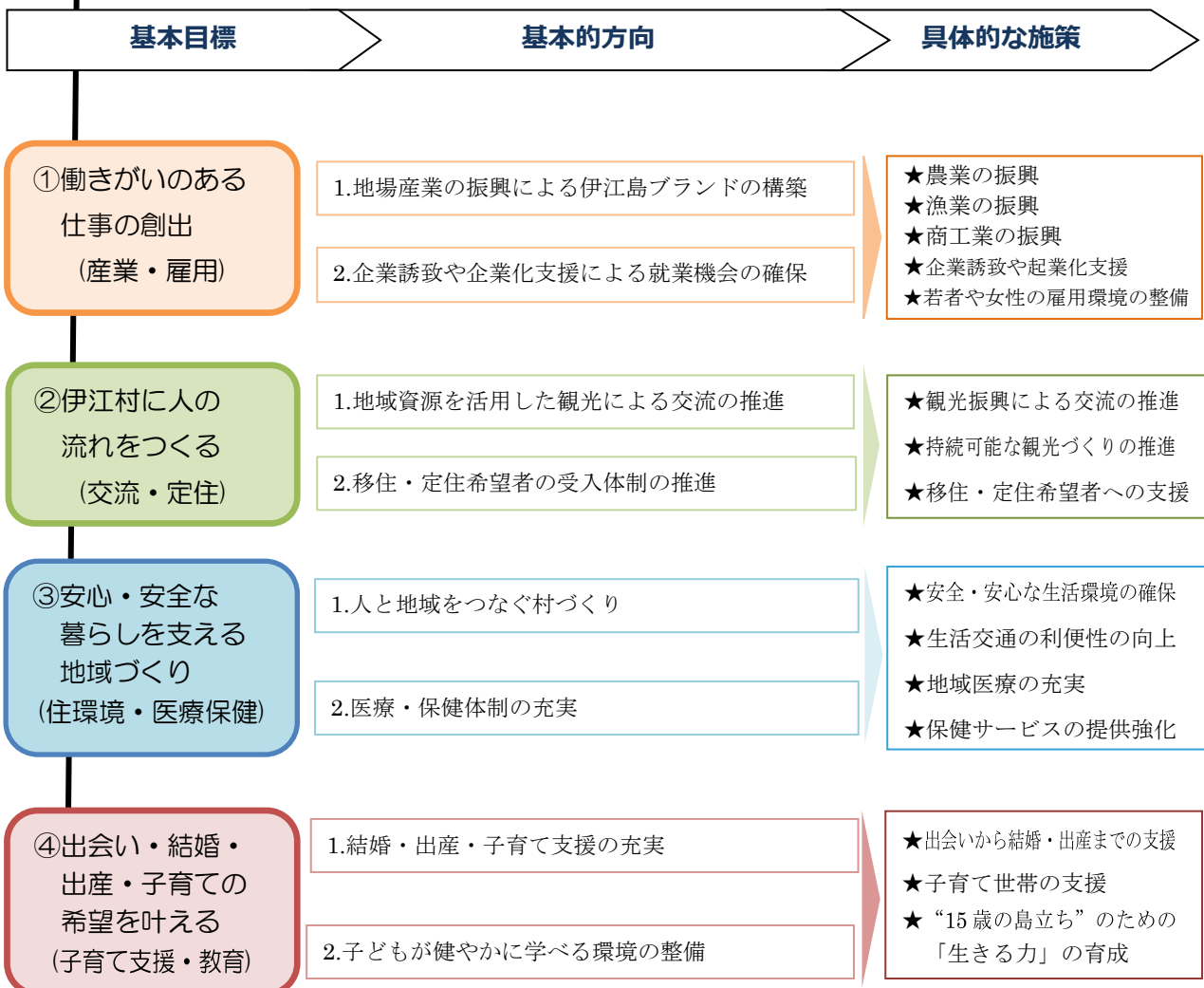
## 第2部 総合戦略

### ◆基本理念と基本目標

人口ビジョンで示した2つの目指すべき将来の方向として示した「働き甲斐のある仕事の創出や定住支援等により、伊江村に新しい人の流れをつくる」及び「出会い・結婚・出産・子育ての希望を叶える」の実現に向け、「**誰もが未来に希望を持てる魅力ある伊江村 ～暮らしてみたい・行ってみたい伊江島～**」を基本理念とし、短・中期的な期間である平成27年度から5年間における戦略を策定し、その大きな柱として、「産業・雇用」、「交流・定住」、「住環境・医療保健」、「子育て支援・教育」の4つの分野に関することを基本目標として位置づけ、各施策を展開していきます。

### ○基本理念

## 誰もが未来に希望を持てる魅力ある伊江村 ～暮らしてみたい・行ってみたい伊江島～



## 基本目標① 働きがいのある仕事の創出(産業・雇用)

### 【数値目標】

・村内事業所数 302 事業所 (H26 年度) ⇒ 307 事業所 (H31 年度)

## 1. 地場産業の振興による伊江島ブランドの構築

農水産業経営の安定化に向けて、新たな農産物や漁法の開発促進、生産基盤の整備を推進していくとともに、担い手の確保・育成を支援します。また、6次産業の推進に向けて関係機関と連携し、高付加価値の商品開発に取り組むとともに、伊江島イメージキャラクター「タッチゅん」の活用等により情報を発信し、“伊江島ブランド”としての知名度を高めつつ、販路拡大に取り組んでいきます。

### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
年間農業生産額	3,843,994 千円 (H26 年度)	3,960,000 千円 (H31 年度)
認定農業者数	74 人 (H26 年度)	80 人 (H31 年度)
年間漁獲額	328,190 千円 (H26 年度)	350,000 千円 (H31 年度)
農水産業の新規就業者数	5年間で12人以上	
農水産物の新規商品開発数	5年間で3品目以上	
「タッチゅん」キャラクターを活用した商品数	2品 (H27 年度までの累計)	5年間で10品以上

### 【具体的な施策】

#### (1) 農業の振興

- ・わった一島ヤサイ産地力強化事業
- ・アジアン野菜商品開発事業
- ・酪農家振興対策事業
- ・農業後継者・担い手の育成の促進
- ・関係機関等が連携した農産物加工品の開発 等

#### (2) 漁業の振興

- ・水産業奨励補助事業
- ・担い手確保・育成事業
- ・養殖も含めた新たな漁法の開拓
- ・観光漁業の推進
- ・関係機関等が連携した水産加工品の開発 等

#### (3) 商工業の振興

- ・特産品の開発・販路拡大支援事業
- ・産学連携による商品開発の支援
- ・地域振興券事業
- ・インターネットを活用した販売促進支援
- ・伊江島イメージキャラクター「タッチゅん」の活用促進 等

## 2. 企業誘致や起業化支援による就業機会の確保

新たな就業機会の創出に向け、情報通信関連企業等の誘致促進や起業化を支援します。また、若者や子育て世代の女性等の雇用促進や雇用環境の拡充を図っていきます。

### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
企業誘致件数	5年間で1件以上	
新規創業件数	5年間で5件以上	

### 【具体的な施策】

#### (1) 企業誘致や起業化支援

- ・情報通信関連企業の誘致及び助成制度の検討
- ・金融機関等との連携による融資制度の周知
- ・既存施設等を活用した ICT カフェや ICT 振興センターの整備 等

#### (2) 若者や女性の雇用環境の整備

- ・関係機関の連携による若者や女性の雇用促進
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進 等

## 基本目標② 伊江村に人の流れをつくる(交流・定住)

### 【数値目標】

- ・ 村内の入域観光客数 139,000 人 (H26 年度) ⇒ 150,000 人 (H31 年度)
- ・ 年間転入者数 220 人 (H26 年度) ⇒ 255 人 (H31 年度)

### 1. 地域資源を活用した観光による交流の推進

観光を通じた交流活動を推進していくために、修学旅行や夏場の観光客の誘客活動と、外国人観光客やスポーツ合宿の誘致を図ります。また、観光客の利便性や満足度を高めるために無料公衆無線 LAN の整備や観光アプリの充実・開発を行っていきます。

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
新たに実施する夏場のイベントによる観光入域客数	— (H26 年度)	1,000 人(H31 年度)
誘致したスポーツ合宿団体数	5年間で5団体	

#### 【具体的な施策】

##### (1)観光振興による 交流の推進

- ・ 伊江村の魅力情報発信事業
- ・ 夏場の観光客誘致に向けたプロモーション活動
- ・ 民家体験泊誘致促進事業
- ・ スポーツ・ツーリズム促進事業
- ・ 外国人観光客の誘客や受入に向けた人材育成
- ・ 旅行会社等との旅行商品開発の強化・販売促進 等

##### (2)持続可能な観光地 づくりの推進

- ・ 観光案内版や観光パンフレットの多言語化の推進
- ・ 無料公衆無線 LAN の整備
- ・ 伊江島観光アプリ「伊江ナビ」の利用促進及び充実
- ・ ICT を活用した観光アプリ開発の推進
- ・ 観光施設の整備・機能拡充 等

### 2. 移住・定住希望者の受入体制の推進

人口減少に歯止めをかけ社会増を促していくために、移住・定住希望者への情報発信や定住環境の整備に取り組みます。

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
定住相談窓口を通じた移住相談件数	5年間で20件以上	

#### 【具体的な施策】

##### (1)移住・定住 希望者への支援

- ・ 定住相談窓口の設置
- ・ 移住・定住の情報発信事業
- ・ 移住希望者のワンデイスティやチョビット暮らしなど生活体験
- ・ U J I ターン者用住宅整備事業 (定住促進公営住宅) 等
- ・ 移住相談支援員の配置
- ・ 空き家の活用 (移住者対象)

## 基本目標③ 安心・安全な暮らしを支える地域づくり(住環境・医療保健)

### 【数値目標】

- ・伊江村に住み続けたいと感じる人の割合 74.8% (H27年度) ⇒80.0% (H31年度)

### 1. 人と地域をつなぐ村づくり

村民の高い定住意向に添えていくために、住宅環境の充実、村民の支え合いによる防災対策の充実等身近な環境の安全性等の向上に取り組んでいくとともに、村内外の交通利便性の向上を図っていきます。

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
村営住宅戸数	80戸 (H26年度)	92戸 (H31年度)
自主防災組織結成数	— (H26年度)	8組織 (H31年度)

#### 【具体的な施策】

##### (1)安全・安心な生活環境の確保

- ・住宅リフォーム支援事業
- ・デジタル防災行政無線整備事業
- ・コミュニティFM支援事業
- ・村営住宅整備事業 (村民対象)
- ・自主防災組織の結成支援
- ・地域Wi-MAXを活用した情報発信 等

##### (2)生活交通の利便性の向上

- ・地方バス運行対策事業の支援
- ・伊江島空港有効活用策の検討
- ・伊江港の波除堤、岸壁の整備促進 等
- ・フェリー「ぐすく」の代船建造
- ・沖縄本島との架橋整備に関する検討

### 2. 医療・保健体制の充実

村民の医療を受ける費用や時間の負担軽減に向けた医療機関の機能の強化や急患体制の構築により地域医療を充実させていきます。また、健康の保持・増進・疾病予防等さまざまな状況に対応した保健サービスを提供していくことで、村内の医療・保健の体制の充実を図ります。

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
村内の住民健診受診率 (基本健診)	42.1% (H26年度)	50.0% (H31年度)
各種健康教室の参加人数	274人 (H26年度)	350人 (H31年度)

#### 【具体的な施策】

##### (1)地域医療の充実

- ・医師・保健師等の確保
- ・医療従事者の住環境の整備
- ・急患搬送体制の充実
- ・伊江村医療保健センターの機能訓練 (リハビリテーション) 室の拡充等施設機能の強化 等

##### (2)保健サービスの提供強化

- ・各種健康診査・健康相談・健康教育・訪問指導等の充実
- ・感染症対策事業
- ・保健師や管理栄養士の人材確保 等

## 基本目標④ 出会い・結婚・出産・子育ての希望を叶える(子育て支援・教育)

### 【数値目標】

- ・合計特殊出生率 1.90 (H22年度) ⇒ 2.05 (H31年度)
- ・1年間の婚姻数 20組 (H26年度) ⇒ 24組 (H31年度)

### 1. 結婚・出産・子育て支援の充実

少子化の最大の要因となっている未婚・晩婚化対策として、出会いや交流の場の機会提供等や村内で行う結婚披露宴費用を助成していきます。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、医療費等の助成や保育環境等の充実に向けて取り組みます。

### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
親手帳発行数	34冊 (H22~26年度)	34冊 (H27~31年度)
第3子以降の出生数	14人 (H26年度)	14人 (H31年度)
不妊治療費助成件数	4件 (H26年度)	4件 (H31年度)

### 【具体的な施策】

#### (1) 出会いから結婚・ 出産までの支援

- ・婚活イベント等の情報提供
- ・青年会等との連携による異業種交流の促進
- ・村内で行う結婚披露宴費用の助成
- ・不妊治療費助成
- ・子育て支援金の支給 等

#### (2) 子育て世帯の支援

- ・未熟児養育医療受療児の母親の船賃及び宿泊費助成
- ・子ども医療費助成事業
- ・多子世帯保育園保育料等助成事業
- ・多様なニーズに対応した一時預かりや延長保育、保育所機能の充実 等

### 2. 子どもが健やかに学べる環境の整備

次代を担う子どもたちが、高校進学時には島から離れてしまうことから、中学校卒業までに学力を含む生きる力を育てていくために学校や家庭、地域が一体となった教育活動を推進していきます。

### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値
県到達度調査における平均正答率が県平均を上回る	A (B) C (H26年度)	(A) B C (H31年度)
全国学力学習状況調査における平均正答率が県を上回る	A (B) C (H26年度)	(A) B C (H31年度)
全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果が全国平均を上回る	A (B) C (H26年度)	(A) B C (H31年度)

### 【具体的な施策】

#### (1) “15歳の島立ち” のための「生きる力」 の育成

- ・学力向上推進事業
- ・伝統継承や平和教育のための総合学習の充実
- ・キャリア教育支援事業
- ・海外短期留学派遣事業及びグローバル人材育成事業
- ・ICTを活用した教育支援事業 等

## 伊江村まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略【概要版】



平成 28 年 3 月発行  
発行：伊江村総務課  
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前 38 番地  
TEL 0980-49-2001 FAX 0980-49-2003  
URL: <http://www.iejima.org/>

伊江島イメージキャラクター  
「タッチゅん」

